

あなたの娘さん、お孫さんは大丈夫ですか？

出産する女性の8人に1人が妊娠糖尿病といわれています。

妊娠するとホルモンの影響で血糖値が上がりやすくなります。

家族に糖尿病の患者さんがいる方や肥満の方は、さらに妊娠糖尿病になりやすいです。

糖尿病患者さんのご家族で妊娠の可能性のある方は、妊娠前に健康診断などで血糖検査を受けておくことをお勧めします。

糖尿病患者さんのご家族は将来、糖尿病になりやすいといわれています。現在、糖尿病でなくても生活習慣に気をつけたり、体重管理をしておくことが大切です。

糖尿病患者さんの妊娠・出産で大切なこと

・計画妊娠すること

妊娠初期の血糖値、HbA1cが高いと妊娠経過や赤ちゃんに影響する可能性があります。

妊娠を考えている時には、妊娠前から糖尿病の治療を受け計画妊娠することが大切です。

網膜症や腎症を合併していないか、妊娠によって影響を受けやすい状態でないかを妊娠前に検査しておきましょう。

・妊娠中の血糖コントロールをすること

血糖コントロールが悪いと、お母さんや赤ちゃんにトラブルが起こりやすくなります。

食事療法に励み、体重を管理しましょう。

自己血糖測定を行い、必要な時はインスリン注射を行います。



糖尿病患者さんの妊娠・出産はチームワークのとれた病院で！

計画妊娠によって妊娠し、妊娠中も血糖コントロールができていれば安心して出産できます。

糖尿病専門医、産科医、小児科医によるチームワークのとれた病院での出産をおすすめします。

糖尿病
瓦版

平成二十七年十二月版
春日井市民病院
隔月発行
糖尿病療養指導グループ発行

担当
看護師